

学位論文及び審査結果の要旨

横浜国立大学

氏名	TISSAYAKORN KITTIPONG
学位の種類	博士（工学）
学位記番号	都市博甲第2255号
学位授与年月日	2021年9月17日
学位授与の根拠	学位規則（昭和28年4月1日文部省令第9号）第4条第1項及び横浜国立大学学位規則第5条第1項
学府・専攻名	都市イノベーション学府 都市イノベーション専攻
学位論文題目	A study on transit-oriented development strategies in the high-speed rail project in Thailand [タイ国高速鉄道プロジェクトにおける公共交通志向型開発戦略に関する研究]
論文審査委員	主査 横浜国立大学 教授 田中伸治 横浜国立大学 教授 前川宏一 横浜国立大学 教授 早野公敏 横浜国立大学 教授 松行美帆子 東京大学 特任教授 中村文彦

論文及び審査結果の要旨

本論文は、タイ国において計画されている高速鉄道の駅周辺整備において公共交通指向型開発（TOD）を実現するために、日本をはじめとする各国での TOD の実績を分析するとともに、タイ国現地でのアンケート調査等を通じてアクセス交通手段選択モデルを構築し、高速鉄道建設に伴う TOD のあり方を議論したものである。

本論文は全 10 章で構成されている。第 1 章では研究の背景と目的を述べ、研究の構成を示している。第 2 章では関連する先行研究について文献レビューを行い、本研究の位置づけを明確にしている。第 3 章では本研究の研究手法および対象地域となるタイと日本の高速鉄道駅について整理している。第 4 章からは主に社会経済面の分析であり、第 4 章では現在のタイにおける高速鉄道と駅周辺開発の計画を整理し、その実施にあたって想定される課題を指摘している。第 5 章では世界各国の TOD に係る制度について概観し、TOD 実施において鍵となる要素を整理している。第 6 章では日本の福島駅を例にとり、新幹線開業が地域にどのような経済効果をもたらしたかを分析している。第 7 章以降は主に高速鉄道駅周辺開発に着目した分析であり、第 7 章では東北新幹線開業前後の福島駅の事例よりアクセス交通に基づく駅勢圏の大きさとその範囲における産業構造の変化を分析している。一方第 8 章ではタイ・ナコンラチャシマ駅を対象にアンケート調査を実施し駅アクセス交通手段の選択モデル構築を行っている。第 9 章では TOD における駅と周辺地域を node と place と捉えてバタフライ・モデルを用いてナコンラチャシマの TOD を評価している。第 10 章では以上の分析結果を取りまとめ、高速鉄道整備と連動した今後の TOD 戦略の方向性についての提言を示している。

本論文は、日本の新幹線事例との比較を通して、首都から一定程度離れた地域での開発課題を明らかにした点、各国制度との比較を通して、行政の都市計画的手続きの課題を明確にした点、都市内公共交通体系が貧弱な高速鉄道駅建設都市において、駅勢圏内の交通体系再編のための計画手法を構築した点において、社会的意義は大きく、学術的な価値が認められる。

提出された論文に対して、iThenticate を用いて剽窃・盗用の不正行為の有無を確認したところ、本人が学会等へ投稿した学術論文、一般的な用語や手法の表現、参考文献名などの一致が見られたものの、剽窃や盗用に該当するものはないことを確認した。研究成果は既に、英語による 3 編の査読付き論文と 2 編の国際学会発表で公表されており、うち 1 編は論文発表賞を受賞しており、学会からも高い評価を受けていると判断できる。

よって、本論文は、博士（工学）の学位論文として十分に価値があると認められるので、合格（A）の判定とする。